

交通事故を無くすためのお願い!!

初めに...

本年6月6日に、小値賀町において自動車と歩行者の衝突事故で、歩行者の方が亡くなるといった交通死亡事故が発生しています。

交通事故は、起こそうとして起こるものではなく、様々な要因が重なって起こるものです。

二度とこのような交通事故が起きないように、運転手・歩行者共に交通マナーの見直しをしましょう。



県内の交通事故原因の7割以上が「脇見・ぼんやり運転」です!



わずかな時間でも、脇見運転やぼんやり運転が、重大事故につながります。

運転することの責任の重さを考え、運転中は緊張感を持ち、運転に集中しましょう。

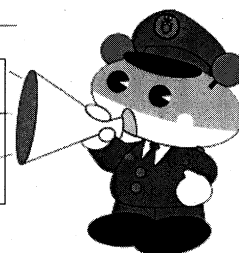
7月号



小値賀駐在所
TEL 56-2110
新上五島警察署
TEL 42-0110

事故を無くすためには!!

車の運転手・歩行者それぞれに、注意すべき事がありますので、以下のことに注意して、事故が起らない、安全で快適な道路環境を作りましょう!!



運転手の注意点



- 見通しの悪い曲がり道や交差点では、速度を落として運転する
 - ※ 人などの急な飛び出しに備え、速度を落としましょう
- 歩行者や自転車、セニアカーの横を通行する際は、十分間隔を取って、徐行で通過する
- 曲がり角や交差点、横断歩道上及びその周辺に車を止めない
 - ※ 横断歩道の近くやバス停に車を止めたり、右側駐車をするなど危険な駐車は、少しの時間でもやめましょう
- お酒を飲んで、運転は絶対にしない

歩行者の注意点

- 歩く際は、白線の内側を歩く
- 横断歩道・信号を横断する際も、車が来ないかよく確認をする
- 見通しの悪い交差点や曲がり道の道路横断はしない
- セニアカーで道路を横断する際、車が来ないかよく確認をする



～夏の交通安全県民運動～

7月11日(月)～7月20日(水)までの10日間、夏の交通安全県民運動が実施され、今年のスローガンは

「わたろうか いそぐ気持ちに ブレーキを」

となっており、重点として、高齢者の交通事故防止・飲酒運転の根絶・後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底となっていますので、ご協力宜しくお願ひします。



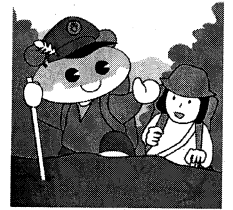
水や山の事故に注意を！～夏期における水難・山岳事故の防止～

海・キャンプ・登山など自然を満喫する絶好の季節ですが、少しの油断が悲惨な結果を招くこととなりますので、決まりを守って、楽しい夏を過ごしましょう。

- ☆ 子供の水難事故で一番多いのが「海、川での水遊び」
 - 一人で遊ばせず、保護者がしっかり監視する
 - 急に深くなる場所や流れが急な場所には近寄させない
 - 海や川の他にも、柵などが無い溜め池等には近寄させない



- ☆ 大人の水難事故で多いのが「魚釣り中」
 - ライフジャケットを着装し、高波や足場に注意する
 - 計画を立て、天候の変化や気象情報に注意する
 - 酒を飲んでの釣りはしない



- ☆ 山岳遭難事故の防止
 - 年齢や体力を考えた無理のない計画を立てる
 - 登山経験の豊富な人と行動を共にし、登山計画書を山岳会、職場、学校、地元の警察署等に提出する
 - 気象情報に十分注意し、非常時に役立つ装備・食料を準備する

※ 登山計画書（登山届）様式例を県警ホームページに掲載しています。

～性犯罪被害の届出促進～

もし、性犯罪被害に遭ってしまったら…

- 通報したいけど、男性より女性に話を聞いて欲しい場合は、警察署や駐在所の他に、電話窓口として、性犯罪被害専用相談電話があります



警察情報ダイヤル「性犯罪被害110番」
0120-11087

(時間外、土日祝日及び担当者不在時は、留守番電話対応)

- ※ 性犯罪捜査専門の女性警察官が対応します
- ※ 相談段階では匿名でも構いません

小値賀町免許更新日

小値賀駐在所の7月の免許更新日は第3月曜日が祝日のため

7月19日(火)午前9時～11時30分

となっていますので、忘れずに更新しましょう！
また、免許を更新される方で、更新時の誕生日に70歳以上になる方は、「高齢者講習」を受けていなければなりません。

高齢者講習は自動車教習所等で受講できますが、受講には電話などでの予約が必要で、受け入れ枠が限られていますので、運転免許の更新をお考えの方は、速やかな受講の予約をお願いします。

(更新期間の満了日の6か月前から受講できます)

- ※ 免許証の更新をしない場合は、高齢者講習を受講する必要はありません。



夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化

- 非行・犯罪被害防止
夏休みは、開放感から、少年が喫煙等の不良行為や万引き等の非行に走りやすく、また、性的被害を始めとした悪質な犯罪被害に遭うケースが少なくありません。

特に、近年はインターネット接続機器の普及に伴い、コミュニティサイト等に起因して犯罪被害に遭うことや、犯罪を引き起こす危険がありますので、少年の行動に目を配り、非行や犯罪被害防止に努めましょう。



- 有害環境の浄化

インターネット上には、残虐な暴力シーンや過激な性描写を含む少年に有害な影響を与えるコンテンツが氾濫しています。

少年がインターネットを利用した犯罪に巻き込まれないため



フィルタリングで安心な生活

に、まずは保護者がフィルタリングを設定することで、被害を未然に防ぐことが大切です。